

多様な有機農家 それぞれの実践（1）

# 丹波篠山 吉良農園の取組み

---

丹波篠山 吉良農園  
代表 吉良 佳晃



丹波篠山

# 吉良農園スキーム

飲食店・シェフ  
へお届け



草木灰



少量多品種栽培



刈り草の堆肥



刈り草のマルチ



協働・学びの場を提供



学校給食リサイクル堆肥



ミネラル分（貝殻化石粉）

外部から投入

農園・地域資源活用



野菜残差のすき込み

## 販売への工夫



シェフとのコミュニケーションをベースに  
単一規格品でなく、  
野草、野菜の一生、  
それぞれにスポット







地域資源活用

生態系の継承







## 里山への接続

左上)  
放置竹林と  
獣がい網

中央)  
ナラ枯れの  
伐木



右上)  
ナラ枯れ

下)  
所有者が  
モザイク状

多様な有機農家 それぞれの実践（2）

# 丹波篠山 集落丸山の取組み

---

NPO法人 集落丸山  
代表理事 佐古田 直実



丹波篠山











# 多様な有機農家 それぞれの実践（3）

## 丹波篠山 やがて の取組み

---

株式会社やがて（YAGATE INC.）  
代表取締役 黒瀬 啓介



# 環境創造型農業事業

## 丹波篠山リアルテラリウム構想

山からため池、圃場へと一貫して

“美しい生命”の生態系をつくる地域を創造

### 養蜂

ミツバチの受粉による  
山林・圃場の植物の活性化



“丹波ローズ”ブランド化  
有機バラ栽培



### 鯉の稚魚養殖

ため池直下の圃場で  
鯉の稚魚養殖。



### 有機黒豆栽培



### 有機丹波栗栽培



### 山林整備

綺麗な水の流れを確保し、  
山道整備や伐採により  
新たな事業を創出。



### 有機米栽培



### “農”民泊

農業でリフレッシュする施設  
臨時スタッフ宿泊



### 錦鯉養魚場



### 町屋民泊

身も心もリフレッシュ  
“リトリート”をテーマに  
した民泊施設



TAMBA SASAYAMA ORGANIC

EarthColorGarden

produced by yagate inc.



# 丹波篠山ワクワク有機農業実施計画

## 丹波篠山市有機農業の将来イメージ

丹波篠山の  
POINT!

本実施計画の特徴

・丹波篠山の自然や生物をまもるための農業が、市内各地で実践されている

・多様な農家が、それぞれの農業の「実践できるかたち」を確立している

「黒大豆」の有機栽培技術が関係機関、地域農業者と連携しながら確立されている

- 生産者の「丹波篠山の自然や生物をまもる」という共通した想いを理念としています。
- 多様な考え方や農法・技術が多様な生産者によって実施されているため、経営規模や経験を問わずそれぞれの生産者が「ワクワク」できる農業のかたちを選択できます。
- 丹波篠山市を代表する農産物であり「日本農業遺産」にも認定されている黒大豆、基幹作物である水稻を中心に、「伝統を次世代へつなぐ」ための取り組みを進めていきます。

## 数値目標

水稻の有機農業面積

	現状 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	拡大面積	増加率
有機農業面積	13.3ha	21.7ha	8.4ha	163.2%
うち有機JAS	3.3ha	8.3ha	5.0ha	251.5%

有機農業に取り組む農業者数

	現状 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	増加人数	備考
有機農業者数	20人	28人	8人	稲4人、黒大豆・野菜4人
うち有機JAS	8人	13人	5人	稲1人、黒大豆・野菜4人

なぜ、農薬や化学肥料を減らすのか？

なぜ、有機農業を広げるのか？



丹波篠山



# 慣行農家が有機農業に取り組むための支援を

- ① 土づくり
- ② 除草
- ③ 農薬は一切駄目なのか



# 有機農業と慣行農家の併存は？



丹波篠山



# 美しい農村を未来に

- ① 多様な担い手が住む
- ② 自然環境、生物多様性を保つ
- ③ 有機農業・環境に配慮されて  
農業が息づく



美しい農村を未来に

都市は人間が作り

農村は神が作った

イギリスの詩人 ウィリアム・クーパー



丹波篠山